

# 見とこ・知とこ

好日  
日々  
みんなの南部



賞状を手に、左・田中優哉くん 右・井原 翼くん

井原 翼くん  
「樹高測定器」  
の作品が特賞  
に選ばれました。  
作品は、さ  
いはく公民館  
のこども発明  
クラブ（指導  
者・前田 武  
さん）で製作  
したものです。  
おめでとござ  
います！

日常生活の中でアイデア、くふうをしたおもちゃ、文房具、運動用具など創造性にあふれる作品を競う鳥取県発明くふう展が十月十五日～十七日、米子産業体育館で開催されました。  
その中で、  
①発明協会会長奨励賞  
田中優哉くん「身長測り器」  
②日本海テレビ社長賞

## 鳥取県発明くふう展で 西伯小学校 四年生が特選！

## 富有柿の初選果

秋も深まり特産品の富有柿の出荷が始まりました。

初選果は平年より一週間早く、十月二十八日に南部町市山のJA鳥取西部選果場で行われました。初選果としてはやや量が少なく、石塚果実部長によると、「今年は、台風の影響が大きく、なんとか、味・玉太りは例年並を保つものの収穫量は三割減の見込み」ということです。

柿の選果は、十一月二十日頃までつづき、遠くは海外のタイ（バンコク）まで出荷されます。

問い合わせ先

果実部選果場 電話六四一―三三三五



玉太りごとに仕分け作業

## かかしも冬ソナ

緑水湖オートキャンプ場で十月二十三日から十一月七日まで「かかし展」が開催されました。昨年につづき二回目で町内外から三十一作品の出品があり、冬ソナかかしやハッスルの小川直也かかし等多彩な「かかし」でにぎわいました。また、森林公園では、絵本作家、野坂勇作氏、造形作家坂本誠一氏の発案で、自然をキャンパスにした野外アート展が十一月二十三日まで開催されています。



森のキャンパス



個人賞・カールおじさん  
(秦岡拓矢くん、沙希さん、幾雄さんの作品)

## アテネと同じ気持ちでマラソン大会

西伯小学校の校内マラソン大会が、アテネパラリンピックに出場された福留史朗さん（大山町）を招き十月二十九日に行われました。福留さんは、三十一歳のとき病気のため視力を低下されましたが、パラリンピックに出場することを目指し、努力を重ね、シドニー・アテネと二大会連続して出場をはたされました。子どもたちを前に「アテネでは二時間五十一分五十六秒で十一位と不本意な成績であったが、マラソン発祥の地で走れたことはとてもうれしく、良い思い出になった。苦難を乗り越えたとき、またひとつ自分が大きくなる。六パーセントのコンディションでも百二十パーセントの力を出すことが大事である。」と話をされた後、子どもたちと一緒にアテネの空と同じような晴天のもとマラソン大会を楽しみました。



子どもたちに声をかけながらマラソン

## 町章候補十点に絞られる

第一回町章選定委員会が十月二十八日に天萬庁舎にて行われました。

南部町にふさわしい町章を公募した結果、町内外から総数一五三三点の応募をいただき、第一次選考として、まちづくり委員会で一〇三点に絞りられ、さらに今回十点に絞りこみが行われました。

はじめに、坂本町長から「未来に向かって伸びる、親しみのある町章の選定をお願いしたい。」と



町章候補作品を選考中

経過説明をうける選考委員

あいさつ。七人の選考委員は、さつそく一〇三点の作品に目を向け、いずれも力作ぞろいでしたが選考は無事終了し、最終候補の十点が選ばれました。今後はその十点を対象に町民の方からもアンケートを取り、最終的に十一月二十九日に決定される予定です。

## ごみの不法投棄を許すな

ごみの不法投棄が問題視されるなか、南部町でも例外ではなく、十月十五日米子保健所と合同でパトロールを実施しました。

人里はなれた林道わきのがけ下など、町内八ヶ所をまわり、家の解体ごみ等が発見されました。町では早急に、県に連携し対策をねり啓発に取り組み予定です。不法投棄を見つけたら役場町民生活課（六六一三一一四）までお知らせください。



家の解体ごみなどを不法投棄